



COVID-19 感染拡大防止のための 令和3年度活動報告No.7

昨年に引き続き、COVID-19 感染対策を心掛けながら、婦人会活動の継続に注力しています。

新型コロナウイルス感染症対策の基本を習得し、今までとは少し違った活動を取り入れています。もちろん、従来の定期事業についても、今求められる婦人会を目指して、奮闘中です。集まるにも会場の使用制限がかかるなど、方法手段の変更を余儀なくされていますがそれを乗り越え、新しい生活様式のために取り組む婦人会活動を紹介いたします。

<富山県 地域女性ネット高岡>

富山県高岡市の地域女性ネット高岡（会長 米澤陽子）では、新型コロナウイルス感染防止の徹底を会員に呼び掛けています。毎月開催している定例会では、広い部屋をお借りし、間隔をあけて着席、入退室時には手指消毒を施行し、短時間で終了するようにしています。

さらに、感染者やその家族への偏見をなくし、最前線で活躍される医療従事者への中傷・差別がない社会の実現を願い、シトラスリボン作り教室を7月8日（木）に高岡市ふれあい福祉センターで開催しました（写真1）。

最初はリボンの扱いが難しく、苦労しましたが、講師のご指導のもと参加者は願いを込めてたくさんのシトラスリボンを作りました。（副会長 北山佐代子記）



写真1 シトラスリボン作り教室の様子

＜富山県結核予防婦人会＞

令和3年8月3日（火）に、結核予防会富山県支部・富山県健康増進センター能登啓文所長他1名、婦人会役員等4名が、県庁に木内哲平厚生部長を表敬訪問し、複十字シール運動への協力をお願いしました（写真2）。

結核予防会富山県支部からは結核の現状、本運動の趣旨や意義、活動目標と計画、婦人会からは日頃の活動についてご報告し、岩田繁子会長から本運動への協力をお願いしました（写真3）。

本県でも新型コロナウイルス感染症が深刻化する中、木内部長にはお時間を割いていただき、本運動への温かいご理解と励ましのお言葉をいただきました（写真4）。

結核、新型コロナウイルス感染症、どちらの感染症についても、今後とも学習を継続し、理解を深め、その感染防止に努めていきたいと思いました。



写真2 木内部長（前列中央）と記念撮影（撮影時のみマスクを外しました）



写真3 協力依頼する岩田会長（右）



写真4 コロナ対策最前線にいる木内部長の励まし（左）